

令和2年度主な事業計画

総務・広報部会

期 日	事 業 名	場 所	備 考
年: 3回	広報紙の発行	交流センター	「戸多だより」第26～28号の発行
1月下旬	戸多地区総合新年会の開催	未定	
随 時	自治会加入促進活動	戸多地区内	

福祉・生涯学習部会

期 日	事 業 名	場 所	備 考
年: 3回	配食サービス	戸多地区内	民生・児童委員
6月18日(木) ↑7月に延期	歴史探訪教室 講座 3回	交流センター	大子～黒羽～湯津上を訪ねて
10月19日(月)		交流センター	
11月18日(水)		移動教室	
9月24日(木)	敬老会	ナザレ園	各自治会
9月26日(土)	親子ふれあい教室	霞ヶ浦湖上体験スクール	芳野子ども会戸多支部
12月13日(日)	そば打ち体験教室	交流センター	
3回開催	カルチャー教室	交流センター	回覧で参加者募集

防犯・防災・環境部会

期 日	事 業 名	場 所	備 考
6月7日(日)	夏季除草作業	戸多地区内	4部会共催
8月23日(日)			
6月21日(日)	通学路障害物撤去作業	戸多地区内	各自治会・4部会共催
9月19日(土)	救命講習会	戸多体育館	那珂消防本部の指導
未定	地区内不法投棄物撤去作業	戸多地区内	
10月	グラウンド整備作業	戸多地区交流センター	戸多まつりに伴う事業
随時	有害鳥獣駆除事業	戸多地区内	戸多地区有害鳥獣対策
12月	那珂市不法投棄物撤去作業	昨年:那珂IC周辺	市環境課への協力

体育部会

期 日	事 業 名	場 所	備 考
5月16日(土)	新スポーツ大会	戸多体育館	延期
5月23日(土)	芳野小学校合同運動会	芳野小学校	延期
6月14日(日)	春季球技大会	那珂総合公園	中止
7月12日(日)	那珂市地区対抗球技大会	那珂総合公園	中止
10月4日(日)	秋季球技大会	アリーナ	ソフトバレーボール(女子)
10月11日(日)		多目的広場	ソフトボール(男子)
10月17日(土)	歩く会	未定	
11月1日(日)	戸多まつり	交流センター	第7回「戸多まつり」



新型コロナ緊急事態宣言解除後の活動について

戸多地区まちづくり委員長 根本文雄



令和2年になり日本と世界に急激に新型コロナウイルスの感染が拡大、感染者が急増し重度な肺炎を発症した場合手遅れになる恐さがあり憂鬱な日が続いている。4月16日には全国に新型コロナウイルス拡大防止緊急事態宣言が出され、その後医療従事者の必死の働きをはじめ、国民一人ひとりの頑張りで5月25日緊急事態宣言は全面解除された。

感染の第二波、第三波の心配は常にあるといわれております。このため戸多地区まちづくり委員会行事実施の可否は判断期限リミットまで熟慮し、国・県の社会活動再開、感染収束状況を確認しつつ、次のように慎重に判断します。また、これからの社会は、国民の健康と生命を守るためにも次のような思考を取り入れて行きたいものです。

1. 大きな行事（敬老会、戸多まつり）の開催可否は役員会を開催し判断します。
2. 上記以外の行事はまちづくり委員会三役、担当正副部会長で開催／中止／延期を決めます。
現状「春期球技大会(6/14)」は中止、「夏期除草作業6/7」「通学路障害物撤去作業(6/21)」は実施することとします。
3. いずれの行事も開催可能となったときのため準備は進めていきます。
4. 今回経験したことを生かし、感染拡大防止に厳しく取組みつつ戸多地区が将来とも安全で住む人が増え、夢ある地域であるようお願い皆様と話し合い、研究し合っていきたいと思います。
5. 日本では多くの部品、原材料のサプライチェーン(供給連鎖)が断たれ自動車などの生産が止まり、マスク不足などが発生した。このようなことを考えると日本は最低食料は自給しなければならないと考えます。
戸多地区では世代間の繋ぎをはじめ多くの課題を解決し米・野菜などを自給し、供給し続ける地域にしたい。
6. 新型コロナウイルスの感染拡大と地震など自然災害同時発生時を想定した防災対策をする。災害時の各戸、各人の備えを万全にする。

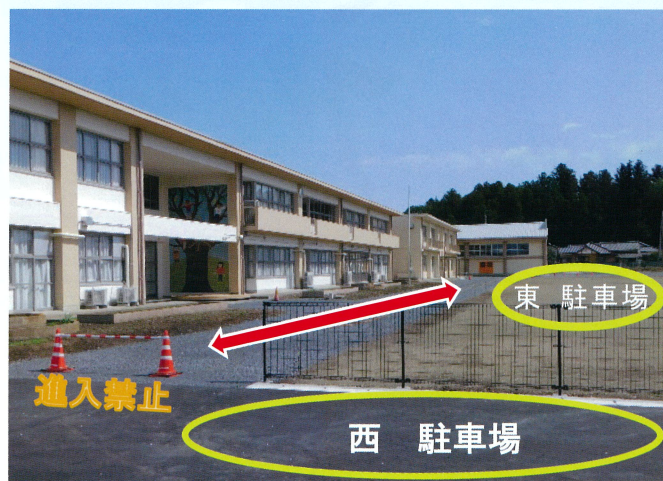


新型コロナウイルス終息を願って
大空を泳ぐ鯉のぼり

戸多地区交流センターの管理運営 戸多地区まちづくり委員会

今年度から戸多地区まちづくり委員会は、市教育支援センター（3月25日開所式）の移設にともない、那珂市と「交流センター敷地等の管理運営に関する覚書」を交わしました。

那珂市教育支援センター・戸多体育館・忠魂碑の敷地全体を、戸多地区まちづくり委員会が管理することとなりました。また、グラウンドの東西に駐車場を完備していますが、教育支援センター開所時間帯



平日 8:00～17:00までの間

連絡用通路は通行禁止です。それ以外は、進入禁止柵（カラーコーン）を移動して通行ください。ただ、碎石が敷いてあるだけなので静かに荒らさないようにご走行してください。進入禁止柵は退場時にもとに戻してください。また、グラウンドへの車両の乗り入れは原則禁止です。

忠魂碑の維持管理について 遺族会 檜山 忠雄

戸多地区交流センター（旧戸多小学校跡地）入口の左側に忠魂碑が立っています。忠魂碑は明治維新以降、日清戦争や日露戦争をはじめとする、戦争や事変に出征して戦死した、郷土出身の兵士の英霊を顕彰し、慰霊するための記念碑として、日露戦争後に全国各地で建立が始まったとのこと。



那珂市内においても、建立に時期に違いはありますが、昭和30年の合併前の旧町村にそれぞれ、地区内の、神社境内、小学校敷地等に設置されています。

戸多地区（旧戸多村）の忠魂碑は、昭和31年5月に建立され、碑の背面には西南戦争での1名をはじめとして、以降の戦いにおいて戦死された、地区出征兵士計147柱の氏名が記されています。その大半は先の第二次世界大戦（太平洋戦争）の戦没者で占められており、当時の旧戸多村の人口3,000名と推定されるとき、犠牲者の数の多さに改めて驚かされます。

市内の忠魂碑は、それぞれの地区遺族会によって管理されてきましたが、戦後75年を経過した今、遺族会の高齢化と会員の減少が急激に進んでいます。戸多地区においても、遺族会員は現在20数名となり、平均年齢は80歳近くに達しています。このような状況から、この度、まちづくり委員長のご支援も得て、境内の植栽についてすべて伐採処分し、今後の維持管理の負担軽減を図りました。地区の先人たちが残した記念碑の、永続的な管理の在り方について、見直す時期が近づきつつあると考えます。

戸多小学校が那珂市教育支援センターとして生まれ変わりました

那珂市教育支援センター所長 小宮 隆春



平成10年度に旧那珂郵便局跡（現：那珂市商工会館）の2階に教育相談室が設けられ、あれから20数年が経ち、教育支援センターとしての機能の充実や拡充が求められる中、この戸多の地にて新たな一歩を踏み出すこととなりました。

令和2年3月25日、那珂市長 先崎 光 様をはじめ、地域の皆様方のご臨席のもと、教育支援センターの開所式が執り行われました。

今後ますます社会の変化の激しい時代を迎え、教育現場にも多岐にわたる課題が山積する中、教育支援センターとしての主たる役割は、以下のとおりです。

- 不登校児童生徒の社会的自立に向けて、心の居場所を確保し心の安定を図るとともに、カウンセリングや学習、小集団活動を行い、自尊心と自己決定力、社会性を養うこと
- 安定した人間関係を通じ、人への信頼、自分自身の可能性への期待を高めること

本年度より、公認心理師3名を含め10名の職員が配置されました。相談業務を担ったり各関係機関との連携や研究実践等に取り組んだりするなど、県内でも誇れる施設となりました。戸多地区交流センターとともに、地域との繋がりを創り出す拠点としての役割も期待されていると思います。自然体験や人との触れ合いが希薄な不登校児童生徒や発達に偏りの見られる子どもたちが、鳥の声や川のせせらぎに耳を傾け、移りゆく季節の色を感じながら、心の成長を願うばかりです。

今後とも、地域の皆様方のご理解ご支援をいただけますようお願いいたします。

